



岐阜県内経済情勢

令和6年4月22日

財務省東海財務局
岐阜財務事務所

1. 総論

【総括判断】「岐阜県内経済は、回復に向けた動きに一服感がみられる」

項目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	回復に向けた動きに一服感がみられる	↓

（注）6年4月判断は、前回6年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	→
生産活動	持ち直している	足踏みの状況にある	↓
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	→
設備投資	5年度は増加見込み	5年度は増加見込み	→
企業収益	5年度は減益見込み	5年度は減益見込み	→
企業の景況感	全産業の現状判断（5年10-12月期）は「下降」超	全産業の現状判断（6年1-3月期）は「下降」超	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→
公共事業	前年を下回っている	前年を下回っている	→
企業倒産	件数は前年を上回っている	件数は前年を上回っている	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

2. 各論

【個人消費】持ち直している

百貨店・スーパー販売は、緩やかに持ち直しつつある。コンビニエンスストア販売は、緩やかに持ち直している。ドラッグストア販売は、堅調となっている。ホームセンター販売は、弱い動きとなっている。家電大型専門店販売は、弱い動きとなっている。乗用車販売は、このところ弱い動きとなっている。

(主なヒアリング結果)

- 日常的に購入する商品では安価なPB商品が伸長する一方、節分やひなまつりなどでは、大容量で高単価のすしや惣菜が売れるなど、メリハリ消費がみられている。【スーパー】
- 外出機会の増加等により、化粧品や食料品のほか、風邪薬や花粉症対策商品が好調となっている。【ドラッグストア】
- 販売台数については、メーカーの生産停止及び出荷停止のほか、受注制限などにより、大幅な減少となった。【乗用車販売】

【生産活動】足踏みの状況にある

汎用・生産用・業務用機械は、弱い動きとなっている。輸送機械は、回復に向けた動きに足踏みがみられる。電気機械は、持ち直しの動きがみられる。金属製品は、回復に向けた動きに足踏みがみられる。窯業・土石は、弱い動きとなっている。プラスチックは、弱い動きとなっている。

(主なヒアリング結果)

- メーカーの生産停止の影響を受けて、大幅に生産減少。生産再開後は回復傾向。【輸送機械】
- 欧州等の景気減速の影響により需要は減少傾向が続いており、これに伴い生産も減少傾向。【汎用・生産用・業務用機械】
- メーカーの生産停止の影響を受けて、大幅に生産減少。足下では影響が残るものの、今後回復する予定。【金属製品】

【雇用情勢】緩やかに改善しつつある

有効求人倍率は、おおむね横ばいで推移している。

(主なヒアリング結果)

- 新規出店の際、パートやアルバイトの人手が必要になってくる。飲食等のサービス業をはじめとして、各種企業が採用をコロナ禍前の水準に戻していることから、集まりにくい状況となっている。【ホームセンター】
- エンジニアについて人手不足が深刻化する中、外国人の活用や奨学金制度等により確保を図っているものの、それでも完全な充足には至っていない。【乗用車販売】
- 地域、正規・非正規社員問わずに人手不足感がある。正規社員の離職率も高い。業界では、有資格者を高額報酬で引き抜くこともあるなど、ヘッドハントも頻繁にみられる。【ドラッグストア】
- 既存従業員の離職防止のほか、新規採用含めた人材確保のため、賃上げを実施。【輸送機械】

1. 本調査結果に関する問い合わせは下記にお願いします。

財務省東海財務局 岐阜財務事務所 財務課

TEL (058) 247-4112 (ダイヤルイン)

2. 本調査結果の概要は下記ホームページでもご覧頂けます。

<https://lfb.mof.go.jp/tokai/gifu.htm>